

---

# 少女

rio

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

少女

### 【Nコード】

N4917C

### 【作者名】

rio

### 【あらすじ】

右手に握ったナイフ。憎悪に染まった目。飛び散る血。そして少女は、主人を殺した。

(前書き)

詩的なものとして読んでいただければと思います。

少女は笑いだした。

東の空はいつの間にか明るくなり始めている。

その空を見上げ、高く澄んだ声で少女は笑い続けた。

かつては華やかで上品だった服は血にまみれ、ナイフを握った右手は血に染まって皮膚の色が見えない。

床には黒ずんだ赤色の水たまりができていた。

それに浮かぶように、男の死体が一つ横たわっていた。

まだ温かい其れは舌をだらしなく垂らし、腹から大量の血を流し続ける。

「ほんとうに、人間って簡単に死んじゃうのね。」

少女は呟くように言った。

それは、目の前に転がる数分前までは主人だった男に話しかけているようでもあった。

「もう、こいつが私を怒鳴ることはないのね。」

少女は母のような微笑みで男を見る。

全てを許す聖母のような微笑み。

「私を殴ることも…蹴ることも…」

そして、「

少女はそこで溜め息をひとつついた。  
再び空を見上げる。

空はどこまでも蒼く、どこまでも広い。

少女の頬を涙が伝う。

少女は構わず雫を流し続けた。

そのうち嗚咽が混ざる。

雫は重力に逆らうことなく落ちて、赤い水たまりに波紋を次々に作った。

「パパもママも、こうやって死んだのね。」

少女はもう一度死体を睨んで、そして自分の血だらけの右手を見た。  
そこに握られたナイフも。

「もう、終わりにしましょう？こんなゲーム。」

少女はナイフを高く掲げ、自分の喉を突いた。

不思議と痛みは感じなかった。

自分の喉から生暖かい液体が吹き出るのが解って、  
視界は真っ赤に染まっていく。

少女は崩れた。

朝日が少女を照らす。

もう冷たくなった少女は、いつまでも微笑み続けていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4917c/>

---

少女

2011年1月12日03時23分発行